

## 議会風景



▶ 令和5年12月 一般質問 ▶ 同左

### 災害時要援護者の避難について

#### 質問のポイント

- ☑ 「災害時要援護者の個別避難計画」について、約21万人の災害時要援護者のうち、重症心身障害児者、24時間人工呼吸器装着患者、ハザードエリアに居住している要介護5の方について、それぞれの計画作成にかかる取り組みが示された。
- ☑ 対象者への計画作成を、丁寧かつスピード感をもって進めることは大切であるが、重症心身障害児者の個別避難計画作成について、課題と今後の具体的な対策は。

○ いさやまの意見：作成時の負担感を解消できるような方法の検討を行い、スピード感を持って計画作成を進めていくとのやり取りがありました。

また、台風等の接近に伴う大雨に対し移動が困難な住民の避難については、緊急避難場所等を經由せず、優先的に直接避難できるスキームが必要ではないか、と再質問しました。



「災害時要援護者の避難」に関する制度設計にあたっては、「福祉避難所へは家族単位での避難ができない」などの当事者の意見を反映する仕組みが必要と考えます。神戸市からも、新たな福祉避難所の指定についても取り組みを進めている、という前向きな答弁をもらいましたが、粘り強い取り組みを進めていきます。

### 摩耶山再整備と今後のアクセスの検討について

#### 質問のポイント

- ☑ 「摩耶山上エリアの利活用検討に関するサウンディング型市場調査」の結果概要が公表されたが、オテル・ド・摩耶と掬星台を含めた摩耶山エリアの再整備の現状は。
- ☑ 「第7回六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会」にて、まやビューラインのロープウェー架け替えなど3案について、採算性を踏まえた議論がなされた。
- ☑ 山上への交通アクセスに関して、意図・狙い、またその課題を踏まえた見解は。

○ いさやまの意見：観光対地元活動の簡単な二項対立の議論にするのではなく、観光需要と今までの地元活動の共存共栄を前提として、質問をしました。

仮に、観光需要予測が高いとされる神戸布引ハーブ園接続ルートが採用されれば、現状の「まやビューライン」ルートを利用している摩耶山で活動する市民に大きな影響が出ますので、検討にあたっては十分な配慮を要すると考えます。

また、民間事業者が魅力ある再整備案を具体的に検討し実現するためには、リスクをふまえた需要予測を前提に、再整備とアクセスの一体的な議論が今後はより必要と考えます。まだまだ課題がたくさんあり、長丁場の議論となりますが、注視していきます。



▶ まやビューライン

★ 定期的に市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail : info@isayama-daisuke.jp

討議資料